

その2

(表)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市北野ハピネスセンター									
事業所番号	A 1 0 3 5 - 0 0 0 0 1									
事業所等の所在地	〒 1 8 1 - 0 0 0 3 区市町村名 東京都三鷹市									
	町名番地下 北野1-9-29									
事業所等の延床面積	2,361.18 m ² 事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満									
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 5 9 連鎖化事業区分 ☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当									
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	②	83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑤)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	83	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ^{※1}	
			⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=(⑧×⑨×44/12)	
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,096.2	45.00	319.3	0.0136	15.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	138,419.0	9.76	1,351.0	0.4890	67.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬	1,670.3	⑭	83.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,436.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,436.0			0.4000	0.6
合 計							⑮	1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とす

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計		
エネルギー等の使用状況の把握				A207	排出状況の整理・分析・提供		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握		
省エネルギー対策	運用対策		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
					B108	エネルギー等情報の対策への活用	
			C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示	
			C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整	
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
	設備保守対策		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
			C508	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し	
					C513	便座ヒーター等温度の季節別設定	
					C519	季節に応じた温度設定の見直し	
			D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検	
			D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
			D104	空調フィルターの清掃・点検			
		設備導入対策		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー 上記以外: D204

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう・三鷹市社会福祉事業団										
事業所番号	A	1	0	3	5	—	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	—	0	0	0	2	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地以下	牟礼6-12-30										
事業所等の延床面積	3,483.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分		☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	153	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	299	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	305	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
							排出係数	排出量 ^{※1} (t)
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	⑥60,869.3	⑦45.00	⑧=⑥/1000×⑦2,739.1	⑨0.0136	⑩=⑧×⑨×14/12136.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	☐	kWh	190,839.0	9.97	1,902.7	0.4890	93.3
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	142,183.0	9.28	1,319.5	0.4890	69.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}			kWh	⑪0.0	9.76	⑫0.0	0.4890	⑬0.0
合 計						⑭5,961.2		⑮299.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,078.0			0.2660	2.7
	公共下水道	☐	m ³	10,078.0			0.4000	4.0
合 計								⑯6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
	設備保守対策			C507	温度計等による室温の把握と調整
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E123	トップランナー機器の採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

令和5年度の対策について・寒暖が激しくない時期は、エアコンを停止し、換気装置や自然換気に対応した。・地下駐車場・更衣室等の利用者サービスに直接影響がない空間は、必要最低限の照明点灯とした。(人感センサーの採用や点灯の間引き等)・水道・電気・ガスの使用量を毎月記録し、前年等と比較した。令和3年度～令和4年度・大規模改修により空調機器を更新し、高効率機器とした。・大規模改修により、熱交換換気装置を更新した。対策メニュー上記以外:C107・E108・E109・E130・E122・E133

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市高齢者センター けやき苑									
事業所番号	A 1 0 3 5 - 0 0 0 6									
事業所等の所在地	〒 1 8 1 - 0 0 1 6		区市町村名 東京都三鷹市							
	町名番地以下 深大寺2-29-13									
事業所等の延床面積	1,343.70 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満							
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)									
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 4		連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	②	68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑤)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ^{※1}	
			⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=(⑧×⑨×44/12)	
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,077.8	45.00	318.5	0.0136	15.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	88,816.0	9.97	885.5	0.4890	43.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	18,264.0	9.28	169.5	0.4890	8.9
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬	1,373.5	⑭	68.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,179.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,179.0			0.4000	0.9
合 計							⑮	1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とす

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C514	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C519	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D107	ボイラ等の空気比の調整
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央保育園										
事業所番号	A	1	0	3	5	—	0	0	2	1	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	—	0	0	1	2	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地下	上連雀6-11-16										
事業所等の延床面積	1,143.65		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分		☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=㉑×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=㉓)	②	68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=㉔)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	59.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (CJ) ⑧=⑤×⑦/1000	二酸化炭素排出量		
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×14/12	
燃料及び び熱	都市ガス	☐	Nm ³	6,004.9	45.00	270.2	0.0136	13.5	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者の 電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	112,179.0	9.76	1,094.9	0.4890	54.9
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						1,365.1		68.3	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,983.0			0.2660	0.8	
	公共下水道	☐	m ³	2,983.0			0.4000	1.2	
合 計								2.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

節電対策について園舎の壁面にゴーヤのグリーンカーテンをつくる、1階と2階テラスに日よけをはる、園庭にミストを設置することで暑さ対策をした。
対策メニュー追加事項:D204、C117、C120、C129

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部水再生センター(東部ポンプ室含む)											
事業所番号	A	1	0	3	5	—	0	0	1	7		
事業所等の所在地	〒	1	8	1	—	0	0	0	4	区市町村名	東京都三鷹市	
町名番地以下	新川1-1-1											
事業所等の延床面積	3,586.93		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	3	6	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=㉑×0.0258)		①	1,177	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=㉓)	②	2,301	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=㉔)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	2,301	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	641.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×㉑/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	208.0	50.80	10.6	0.0161	0.6
	その他(ガソリン)	☐	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	☐	kWh	2,845,724.0	9.97	28,371.9	0.4890	1,391.6
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	1,859,216.0	9.28	17,253.5	0.4890	909.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⑪ 45,636.7	⑬	2,301.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	983.0			0.2660	0.3
	公共下水道	☐	m ³	983.0			0.4000	0.4
合 計							⑭	0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C901	4S(整理・整頓等)の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C904	運転方法ルール化と不使用時停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C908	受電力率の把握・記録
				C909	契約電力の変更の検討
	設備保守対策	D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
		D206	動力伝達部の定期的な点検	D205	換気フィルターの清掃・点検
		D209	空気系統のエア漏れ補修	D208	ストレーナやフィルターの清掃
				D210	コンプレッサの定期点検の実施
	設備導入対策	E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	E205	照明用人間センサの採用
		E203	高効率照明器具の採用(屋内)	E209	空調の冷温水配管の保温の実施
				E211	ポンプ・ファン等のインバータ制御
				E231	インバータ制御の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目 標 値 等 (選 択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

①エアレータの回転数制御

②空調設備及び照明機器の運転時間見直し

対策メニュー上記以外:C524、C916、D215、D216、E239

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭ポンプ場									
事業所番号	A	1	0	3	5	ー	0	0	1	0
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	0	1	区市町村名東京都三鷹市
町名番地下	井の頭1-4-39									
事業所等の延床面積	1,000.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	3	6	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	188	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	188	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	187.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	67.7	45.00	3.0	0.0136	0.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	238,207.0	9.97	2,374.9	0.4890	116.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	夜間(22時～翌日8時)	kWh	146,293.0	9.28	1,357.6	0.4890	71.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫	9.76	⑬	0.4890	⑭
合 計						⑮	3,735.6	⑯
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	387.0			0.2660	0.1
	公共下水道	☐	m ³	387.0			0.4000	0.2
	合 計							⑰

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C901	4S(整理・整頓等)の実施	C908	受電率率の把握・記録
		C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C909	契約電力の変更の検討
				C929	ポンプの送水圧等の把握
				C930	ポンプの送水圧力・流量の適正化
				C927	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			C928	その他設備の効率的な使用法表示
		D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
				D205	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			D215	水道メータ等で漏水の有無の点検
		E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	D216	その他設備の定期的な保守・点検
		E203	高効率照明器具の採用(屋内)	E231	インバータ制御の導入
				E239	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項